

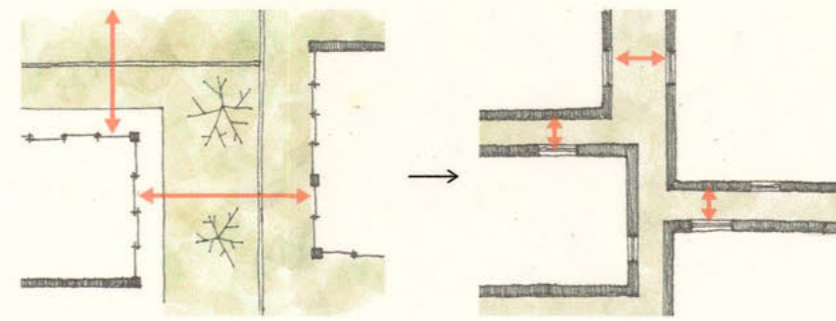
抜け道がつくる家

家と家の距離は近いのに、
お隣さんの姿は見えないし、声も聞こえない。

壁に囲われた窮屈な生活のなかに、
空気の抜け道となるえんとつを挿入することで生活に風を流す。

横になったえんとつは、見えなかった生活感があふれてくる。
程よい距離感で家と家をつないでいく。

01 距離が近くて息苦しい住戸

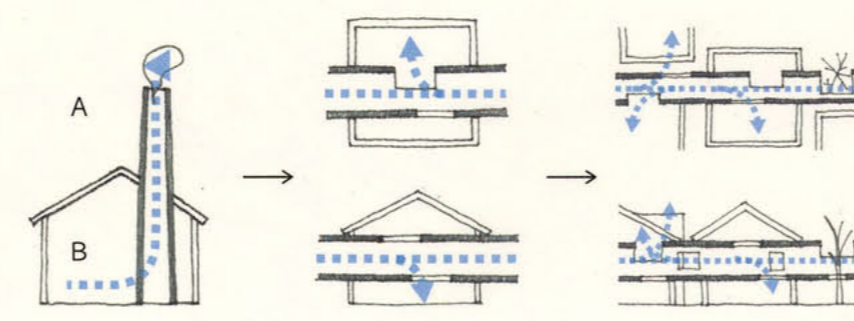


庭つくるお隣との付かず離れずの距離

近いけど壁に囲われて窮屈な空間

お隣さんとの距離を保つためにあった庭がなくなり、壁によって互いを閉じた家が立ち並び、空気の詰まりを解消したい。

02 空気の抜けをつくる“えんとつ”



AとBを繋ぐえんとつを利用する

外からの空気が流れ家へと運ばれていく

周辺の家にも通すことで多様な空気が抜けていく

空気が詰まった家々に横に倒した「えんとつ」を挿入することで空気を循環させる。えんとつが入った家には新しい空気を流れ出す。

03 生活があふれだす



空気が流れる内部は洗濯物がよく乾く

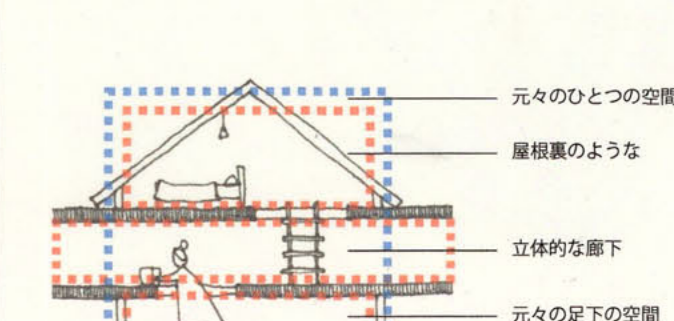
草木が入ることで自然との距離を近づける

料理の香りが運ばれていく

見えなかったお隣さんをえんとつが繋いでいく

えんとつは、様々な家を通ってくるために、そこで暮らす人々の生活があふれてくる。住民が共有するえんとつはお隣さんとの距離を適度につなげる装置となる。

04 えんとつがつくる空間



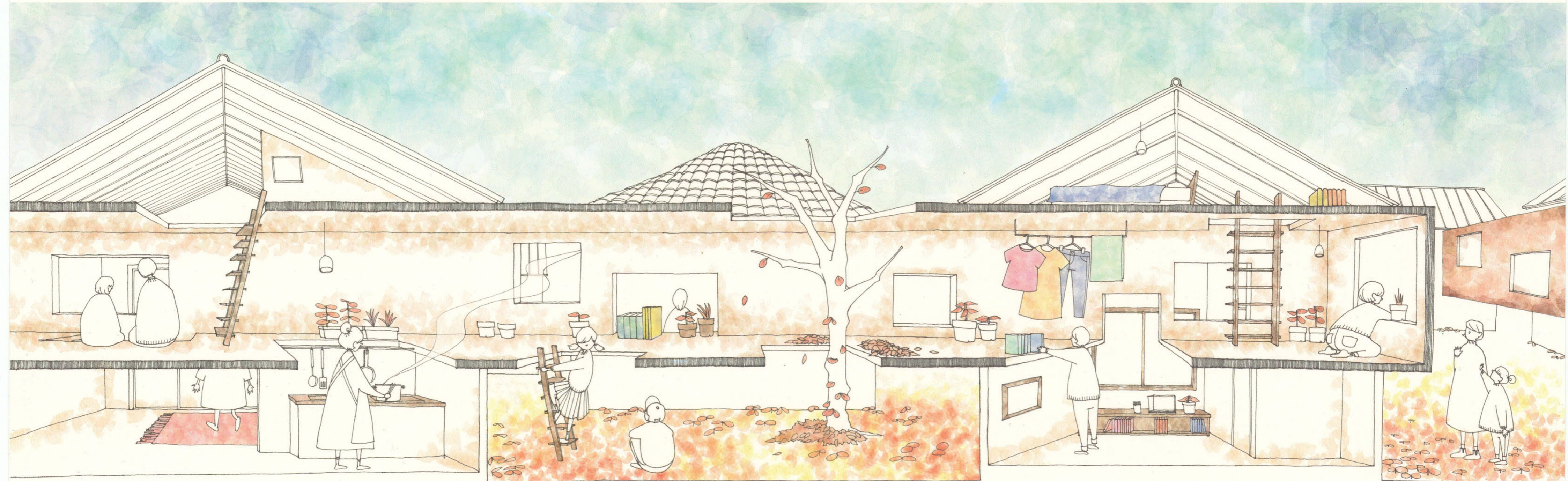
元々のひとつの空間

屋根裏のような

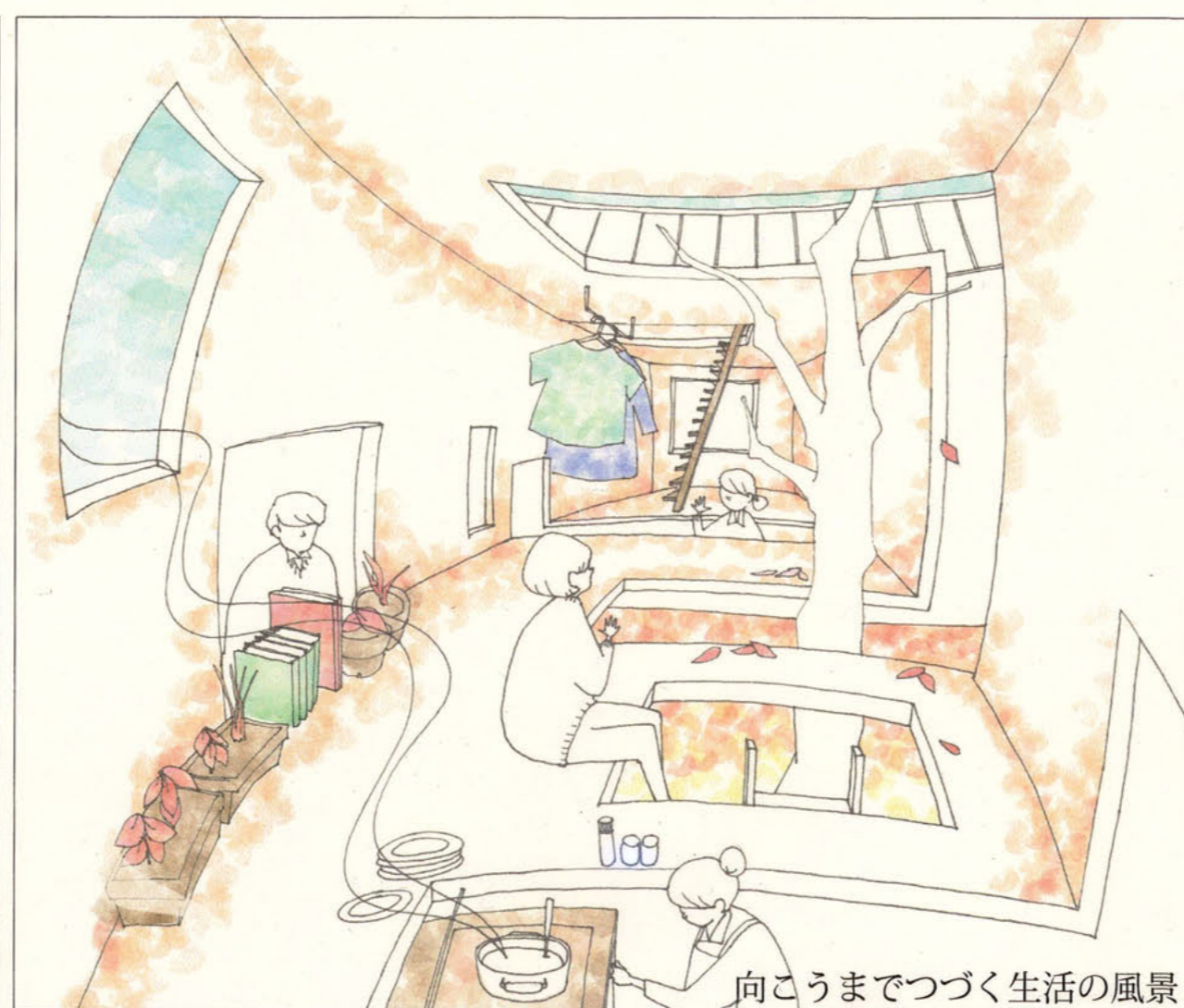
立体的な廊下

元々の足下の空間

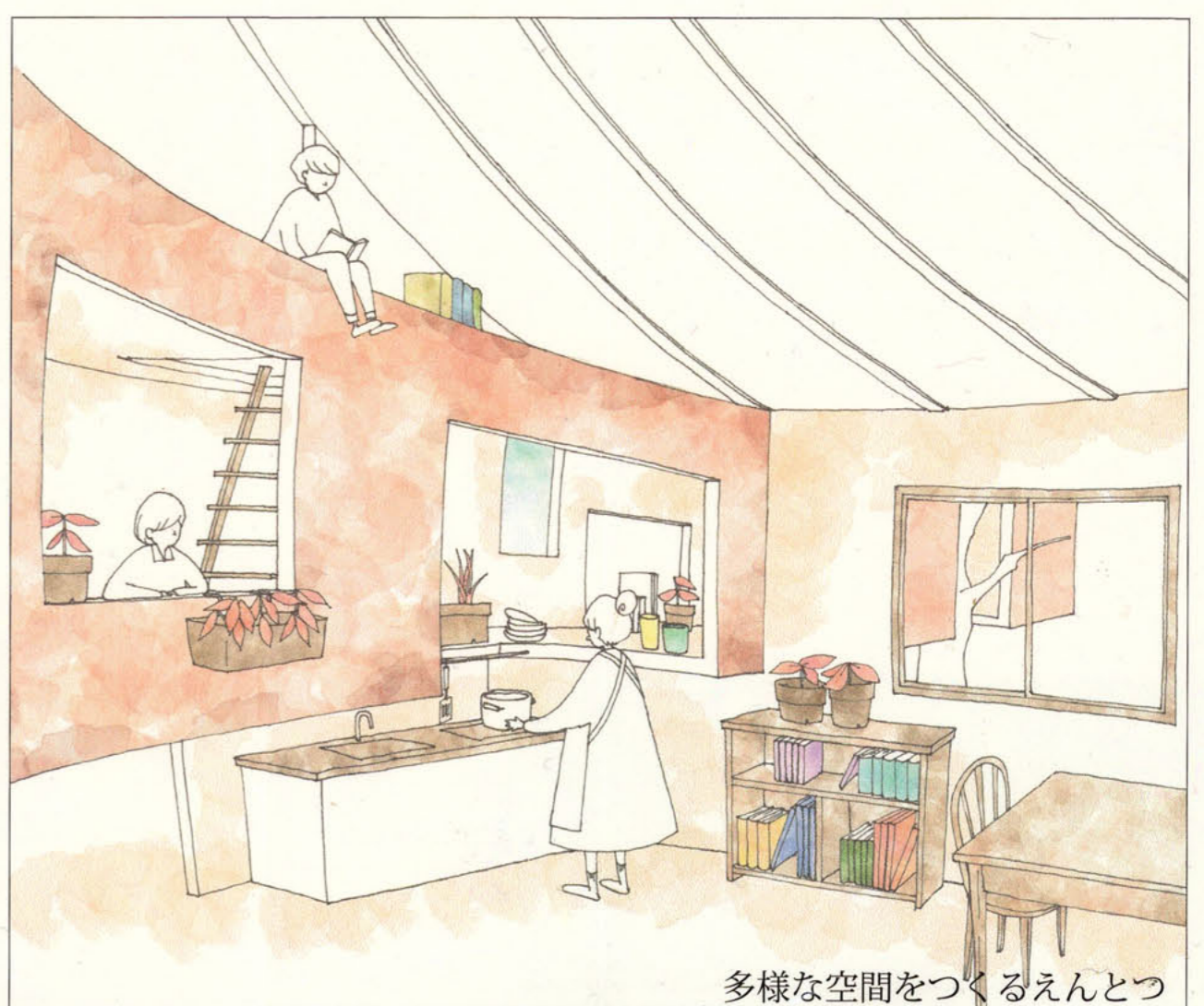
えんとつにより、ひとつの大きな空間は分かれ、平屋の中でも立体的に空間が広がっていく。



SITE PLAN



向こうまでつづく生活の風景



多様な空間をつくるえんとつ